

足元の投資環境と今後の見通しについて

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)

愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)

追加型投信/内外/資産複合

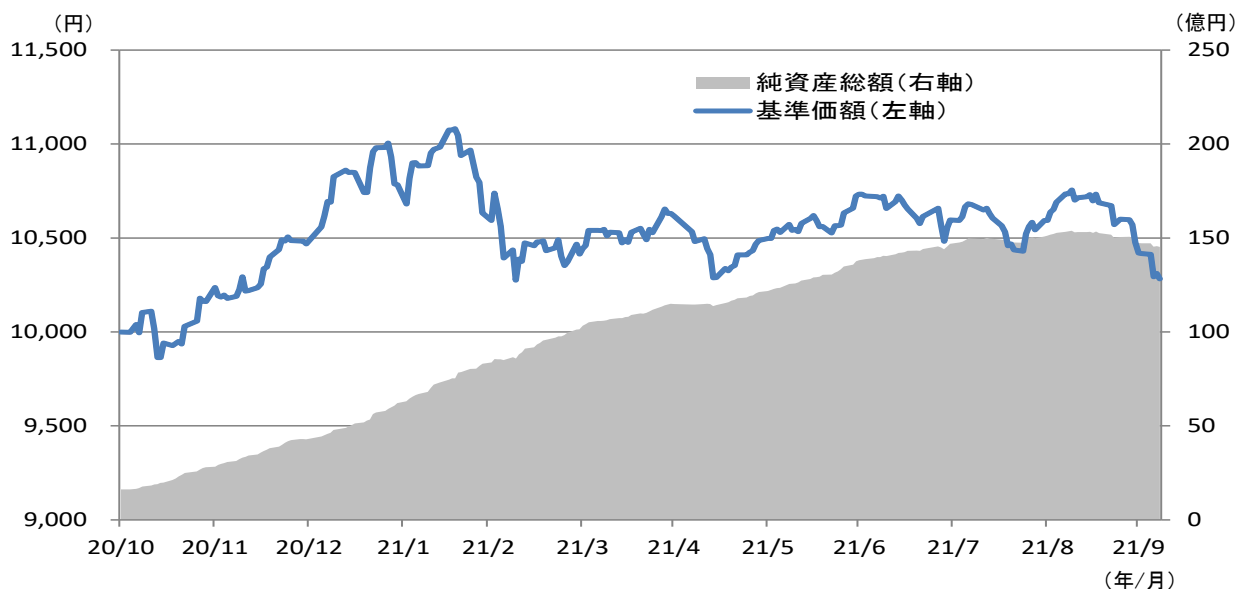
2021年10月13日

平素より「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」(以下、世界のマイスター)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。「世界のマイスター」は2020年10月30日より設定・運用を開始しており、主要投資対象としています「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ (JPY)」(以下、ピムコファンド)を通して運用を行っております。本レポートでは足元の投資環境と今後の見通しにつきまして、運用委託先であるピムコジャパンリミテッドのコメントをご紹介します。

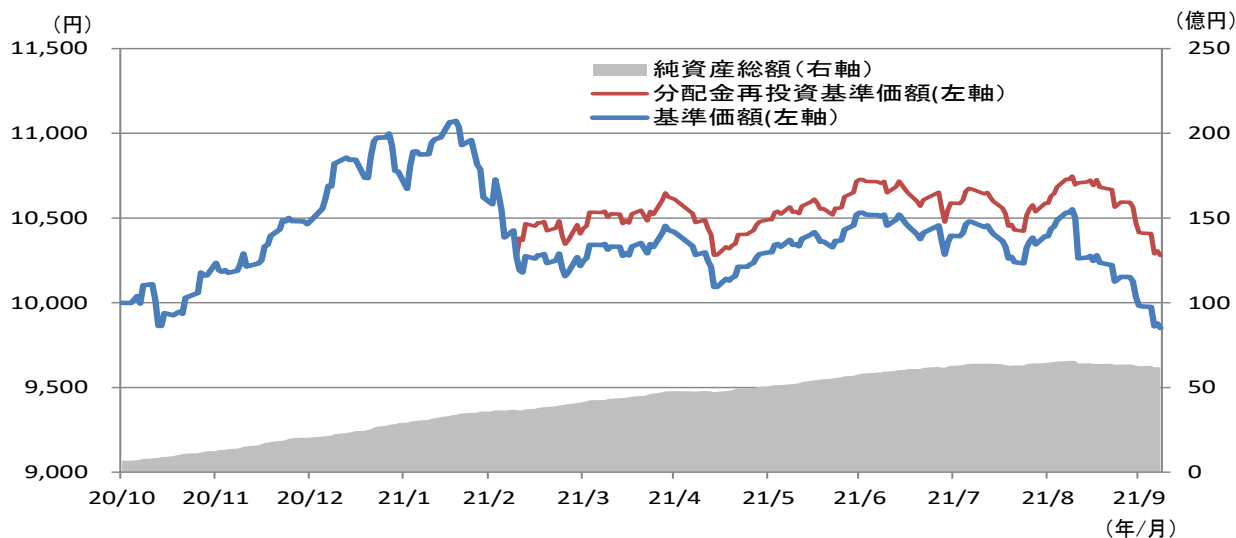
(1) 世界のマイスターの基準価額推移

世界のマイスターの基準価額は、2021年2月中旬以降の長期金利上昇を受けグロース株を中心に下落をした影響から調整をしました。その後3月中旬以降は、金利上昇の一服などを背景にパフォーマンスに持ち直しの動きが見られていましたが、9月に入り中国の大手不動産会社の信用不安や米財政問題などを受けグローバル株式市場全体に売りが広がる中で、世界のマイスターも主に株式投資テーマ部分の影響から軟調に推移しています。

＜資産成長型＞ (設定日(2020年10月30日)～2021年10月7日)



＜年2回決算型＞ (設定日(2020年10月30日)～2021年10月7日)



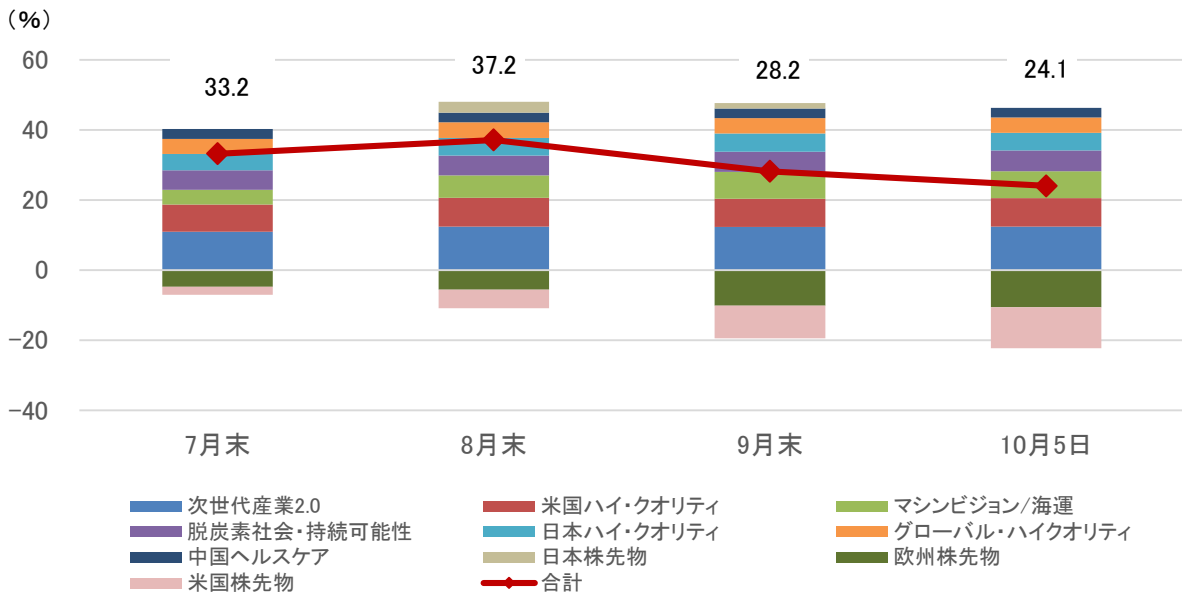
＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

(2) 株式部分の組入比率の推移

ピムコファンドにおける株式の組入比率は、8月に日本株への先物を活用した機動的な投資などにより30%台半ばまで高める局面もありましたが、市場において米国の財政、エネルギー価格の高騰、中国の規制強化など複数のリスク要因が台頭してきたことや、バリュエーションの高止まりを受けて9月末では約28%、2021年10月5日時点では約24%と機動的に削減を行いました。内訳として、株式テーマへの割合は概ね維持している一方、ファンド全体における株式リスクを調整するため日本株の先物の買い建てを解消し、米国・欧州株の先物の売り建てを拡大することにより株式投資比率全体を削減しています。

株式部分の組入比率の推移(株式テーマ・投資戦略別)



(注) 上記の比率はピムコファンドの純資産総額に対する保有証券時価の比率です。

(出所) ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(3) 投資環境とファンドへの影響について

<投資環境>

7月末以降、中国政府が所得分配の不平等の改善を図るべく教育、不動産、オンラインなど一部業種に対する規制の強化を発表、市場への介入姿勢を強めたことで中国、香港株式市場が大きく下落しました。9月に入ると、大手不動産会社の中国恒大集団のデフォルト懸念の高まりを受けて、市場のリスク回避姿勢が強まり、グローバル株式市場全般で売りが広がる展開となりました。先進国においては、供給制約によるインフレ圧力の高まりから米連邦準備制度理事会(FRB)が年内の量的緩和縮小(テーパリング)開始を表明したことを受けて長期金利が上昇した一方、中国発のリスクオフの影響に加え、米国における債務上限問題や日米における金融所得課税変更などの要因がリスク資産価格にマイナスの影響を与えています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

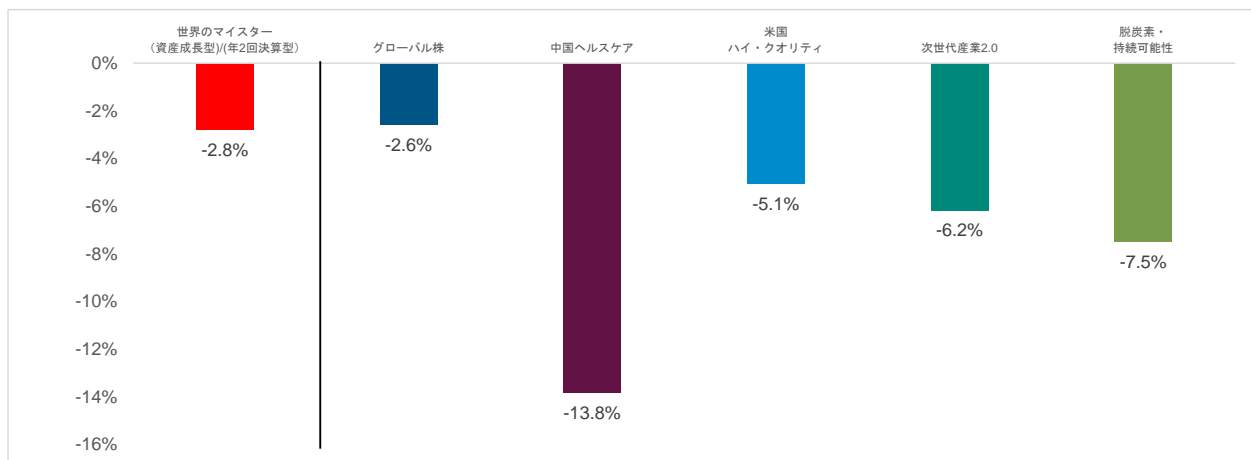
■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

<世界のマイスターへの影響について>

前ページ記載の市場全体のリスクオフによる影響から、主に株式部分でマイナスの影響を受けています。中国については、上半期にポジションを大きく削減し5%程度にとどめていたことで影響を一定程度抑制することができました。主に投資を行っている株式テーマでみると、昨年のパフォーマンスを牽引した「次世代産業2.0」はロボティクスや再生エネルギー等グロース色の強い企業群が含まれること、「米国ハイ・クオリティ」は半導体など需要が強いものの供給制約の影響を受けやすい景気敏感株を含んでいることから、株式市場全体に比べ相対的に下げ幅を強めるかたちとなり、ファンドにとってマイナスに影響しました。債券部分では、金利リスクを低位にとどめていたことから、先進国の長期金利の上昇による影響は抑制することができました。

株式テーマ別のパフォーマンス

(期間:2021年7月末~10月4日、世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)は2021年8月2日~10月5日)



(注)世界のマイスター(資産成長型)は基準価額、同(年2回決算型)は分配金再投資基準価額の騰落率です。

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(4)今後の見通し

先進国を中心としたワクチン接種の広がりによるデルタ株蔓延の抑制や、かかる動きに伴うサービス業の回復から景気を持ち直しが続くとの見通しに変更はありません。ただし、足元では供給制約の問題が長期化し、エネルギー価格を含め物価の高止まりに繋がることで景気の足かせとして懸念されているほか、中国の規制動向がもたらす影響に市場が神経質となっているため、株式をはじめとしたバリュエーションが高止まりしているリスク資産については値動きの激しい展開が当面続く想定しています。かかる環境では、今回の景気拡大サイクルの主軸として確信度の高いグリーン&デジタル(次世代産業2.0)や、バランスシートや保有キャッシュの面で健全性の高いハイ・クオリティなどのテーマについては、バリュエーションに配慮しながら継続投資しつつ、欧米株式先物などの売り建てを通じ株式比率を20%台半ばまで機動的に引き下げるなどの対応を行っています。

(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様様に帰属します。ファンドは、国内外の株式、債券、通貨、商品および不動産関連の証券等価値動きのある有価証券等に投資しますので、組み入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできないため、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「債券価格変動リスク」、「商品価格変動リスク」、「不動産関連の証券の価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カウンターリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンド目的・特色」、「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限2.2%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.848%（税抜1.68%）
- ※当ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬はかからないため、実質的な運用管理費用（信託報酬）も上記と同じとなります。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただけます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)